

【質疑応答】

《セクシュアリティに関する取組について》

中国新聞 相談カードの配布は去年もずっとされていっている取組ということではよろしいですか。今年特に新しいところはありますか。内容的に。

教育長 内容的には昨年から講演会をやっております、コロナ禍ではございましたけれども、30校程度できるようにしております。私も見に行きましたけれども、男女で反応が違ったんですけれども、そういう意味では先ほど申し上げたように、知らなかったことが知れたとか、自分らしく、生きたいというような生徒たちが、自分の思ったことを言えるようになったかなというふうに思っております。

中国新聞 ありがとうございます。これは県で予算を組んでやっているんですか。

教育長 そうです。

《医療的ケア児の通学支援について》

中国新聞 今年度の事業で、医療的ケア児の通学支援の試行っていうのを予定されていると思うんですけど、予定では6月から9月に実施されるということだったんですけど、現状という状況かを教えていただいてよろしいでしょうか。

教育長 予定どおり、実施をしているというふうに認識をしておりますけれども、ちょっと細かいことについては後程担当課からお知らせしたいと思います。

中国新聞 今回試行されて、教育長としては今後どういうところをポイントに、その継続なり、実施の方針を判断するポイントになるかなと見ていらっしゃるでしょうか。

教育長 今から試行実施ですので、どういう形で、課題ですとか、あるいは解決しなければならなかったということが出てくると思っていますので、それを踏まえて、生徒たちのためになる施策を打っていききたいなというふうに思っております。

《「職場の安全宣言」について》

広島テレビ 先月の終わりに、官製談合の最終報告から半月が経ちまして、現在の職場の風土というか、教育長がどのように捉えられているのかっていう部分と、また、内部通報窓口を設置されてしばらく経ちましたけれども、この窓口が今機能しているのか、何件くらい相談が寄せられているのか、現状の方をお話しいただければと思います。

教育長 窓口の件数に関しましては後ほどお知らせしたいと思いますけれども、6月の7日に職場の安全宣言についても発出いたしまして、職員一人一人を尊重する会議協議の場での話しやすさを大切にする、それから職員が主体的自発的にチャレンジする姿勢を尊重するというところがございます。また「教育長ミーティング」といって、職員が5・6名のグループで30分から40分、お話をする、私も含めて、職員同士が困っていることや、改善して欲しいことについて、5・6名のグループの単位で、私を交えて意見交換を行っております。この教育長ミーティングを実施、まだ途中の段階ですけども、実施しているところです。職員からは、例えば、課長とか係長さんからは、職員のマネジメントについて、部署を超えてどういうふうにしていくかというような相談とか、あるいは、仕事のモチベーションとか、あるいは効率的な仕事の進め方・改善方法、またリフレッシュの方法、いろんな話がそこで出てきておまして、職員同士の交流の場というかなですね意見交換に加えて、私自身が職員、一人一人の悩みとか考えを汲み取ることができるといふ貴重な場というふうになっているとらえております。

杉本総務課長 内部通報の外部窓口なんですけど、設置をしてくださるんですね、ちょっと具体的の中身は申し上げられませんが、1件、弁護士の窓口を通じて出てきたものが、今のところあります。そういう状況です。

《入学者の確保について》

中国新聞 去年の私立の高校の入学者の状況っていうのがこの間、環境県民局のほうから発表されて、それを見ると、受検倍率も入学者数も昨年度から増えて、定員超過の学校数も増えたという状況があったんですけども、少子化の中で、生徒の獲得競争が激しくなる中で、私立の競争も激しくなる中で、公立校が生徒獲得をするために、大切だと思われることを、教育長の考えを伺いたい。

教育長 私立公立どちらも、それぞれの役割がございまして、学校それぞれ、私立も公立も含めて、生徒の確保のために、皆様、努力されていると認識しておりますけれども、公立は公立の役割があるということと、それと、公立については、例えば商業高校に代表されるように、私とは何者かっていうことについても、取り組ませていただいたりしておりますので、もしかしたら、施設面ではですね、なかなか公立は厳しいところがあるかもしれませんが、内容で頑張りたいというふうに思っております。

中国新聞 関連なんですけども、今回特に県内の私立高校の入学者が、ぐっと増えたなという印象を受けたんですけども、学校関係者とか、塾とか、やっぱいろいろ取材すると、今年特に公立高校の入試日程が変わったっていうことで、少なからず中学生の進学先選びとか受検のスケジュールとかにちょっと影響したんじゃないかなという声も聞くんですけど、その点について、教育長は課題か何かお持ちでしょうか。

教育長 私立の方にですね、できる限り私立と公立を近づけてほしいということ、私自身、申入れをしておりますし、そこ最後はですねあちらがお決めになることですので、こちらでこうしていただきっていうことは申し上げられませんが、いずれにしてもどちらも早期化しないような形で、できれば、私立も公立も大体まとまった時期に入試を行うということが望ましいというふうに思っております。

《住民訴訟について》

中国新聞 官製談合の件で、住民訴訟が予定されていると思うんですけど、今のところの県教委の対応姿勢というか、どういう方針か教えてもらってよろしいですか。

杉本総務課長 訴訟に関わることで、今から裁判になっていって、そこで事実関係を我々としても整理をして臨まないといけないので、今の段階でのコメントは申し訳ないです、控えさせていただきます。